

来てみちよくれ夏の京築
自然の中で五感体験

夏
vol.027

豊のくにけいちく

Tovonokuni Keichiku.2017 July

©IZUMI HARAGA



青龍に

守られ眠る

豊玉姫

青龍窟

豊玉姫伝説の霊気が漂う
パワースポット

洞窟探険

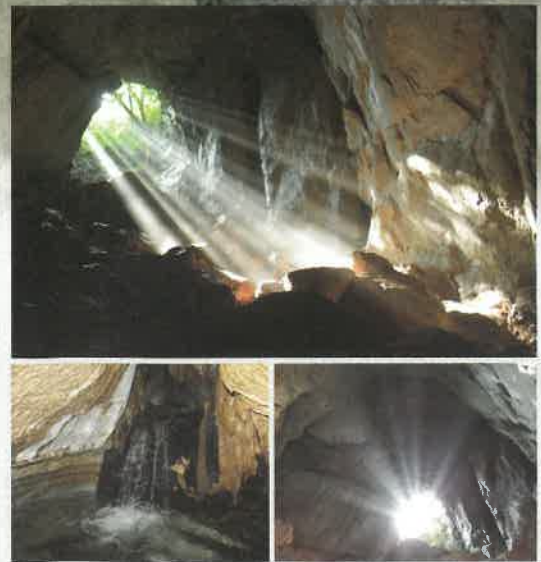
荻田町大字山口青龍
せいりゅうくつ

九州随一のカルスト台地平尾台の最大の鍾乳洞窟、伝説の豊玉姫が祀られる霊気が漂うパワースポット。洞口ホールに差し込む神秘的な光。洞内には地下川が流れ石灰岩を侵食。高低差が約50mもある深い谷が形成されています。

清流は迷路のように入り組み、悠久の時間を語る印象的な多くの鍾乳石が連なっています。神秘的な異世界を体感してみてください。

＊洞窟探険は荻田ガイドの会の洞窟担当同行で。

（レポーター／木実原）



●問い合わせ 荻田町まちの歴史担当 [☎]093-434-2212

豊の国
けいちく

行ってみちよくれ

EVENT CALENDAR



吉富町

第4回 よしとみ ガールdeマルシェ
7月15日(土)

■会場 吉富駅前広場(吉富町大字広津364-2)
「女子集客のまち」づくりの一環として定期的に開催します！雑貨や飲食、農産品など約15店舗が集結します。お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

●問い合わせ 吉富町産業建設課
☎0979-24-4073

豊前市

豊前市みなと祭り
7月22日(土)

■会場 宇島港湾内
毎年夏に開催されている豊前市を代表するお祭りのひとつです。3000発の花火が豊前の夜空を美しく飾ります。

●問い合わせ 豊前市観光物産課
☎0979-82-1111

荻田町

第8回「夏まつりinあらつ」
7月22日(土)

■会場 小波瀬西工大駅ロータリー
ステージイベントや福引き、花火等盛りだくさんの内容です。地元からの各種出店もある地元でづくりのお祭りです。

●問い合わせ 新津地域夏まつり実行委員会
☎0930-22-8114

築上町

夏祭り大楠
8月15日(火) 14:00~22:00
(花火21:30)

■会場 本庄の大楠(築上町大字本庄1641-1)
国の天然記念物である大楠の下で、地元の方達によるステージイベントや出店があります。また、夜には、大楠をライトアップし、福岡県でいちばん小さな花火大会も行います。

●問い合わせ 大楠会事務局
☎090-5281-3107(白川携帯)

みやこ町

みやこ町夏まつり

前夜祭:8月18日(金)
本 祭:8月19日(土)

■会場 サン・グレートみやこ周辺
(みやこ町勝山黒田86-1)

華やかなステージイベントや約1000発の花火が会場全体を盛りあげます!!
その他多数の出店もあります。ぜひご来場ください!!

●問い合わせ みやこ町観光まちづくり課
☎0930-32-2512

京築元気もん

もんじゅかい
「文殊会」女性部

あおやま つやこ
青山 艶子さん

みんなの声がなによりの力

今年3月に開店した「古民家食庵 伝法寺庄」を切り盛りする青山さんは、築上町に嫁いで50余年。宇都宮氏の居城があった地域の歴史の奥深さに目覚め、農業の傍ら地元郷土誌会に所属。地域おこし活動にも熱心に取り組んでこられました。

由緒ある祭り「智恵の文殊大祭」では武者行列に女性が参加すればもっと華やかになるのでは？と提案。同町にある県立築上西高等学校の生徒に呼びかけるなど地域と人をつないできました。歴史好きの青山さんは、地域のお宝を伝えようと宇都宮氏に縁のある旧竹内家の保存に尽力。「古民家食庵 伝法寺庄」の開店に貢献。現在、青山さんを中心に文殊会の女性部7名で運営しています。「今日も車が止まって、お客さんがいっぱいだね」と声をかけられるのが『なによりの力』苦労の中にも喜びを感じる日々です。「お客様とスタッフへの心配りを大切に人が集う地域にしていきたい」と地元愛を語ります。料理上手の青山さん考案「城井のごはん」の夏メニューは、地域の梅や杏のドレッシングを使用した夏を乗り切る料理です。

(レポーター/うめといと)



「古民家食庵 伝法寺庄」の開店に貢献。現在、青山さんを中心に文殊会の女性部7名で運営しています。「今日も車が止まって、お客さんがいっぱいだね」と声をかけられるのが『なによりの力』苦労の中にも喜びを感じる日々です。「お客様とスタッフへの心配りを大切に人が集う地域にしていきたい」と地元愛を語ります。料理上手の青山さん考案「城井のごはん」の夏メニューは、地域の梅や杏のドレッシングを使用した夏を乗り切る料理です。

話題
のお店
Keichiku
Gourmet

豊前厨房
バルバ・ロッサ

宇島駅そばにオープンして3年目を迎える人気のレストラン。オーナーが命名したお店の名前「バルバ・ロッサ」はイタリア語で「あかひげ」。カジュアルな欧風スタイルのお洒落な店内は、温みのある落ち着いた雰囲気です。居心地よく、つつい長居してしまいそう。おすすめはボリュームのあるプレートランチ。ディナーのコース料理(3,500円〜)はワインを召し上がりながら、ちょっと大人気分です。

(レポーター/ヒメジャガ)

●ランチメニュー
・プレートランチ(1,000円)+デザート(250円)
・バスタランチ (900円)+デザート(250円)
・ローストビーフ丼(950円)※平日限定5食



Shop Information

[住]豊前市八屋1904-5
[☎]0979-64-6482 [駐]4台
[営]ランチ 11:30~14:00(O・S 13:30)
ディナー18:00~23:00(O・S 22:00)
[休]水(月1回連休)※土曜日はディナーのみ

編集後記
今号より京築応援団会報編集会議に参加させていただきました。生まれも育ちも築上町の2人ですが、いざ取材やインタビューをすると知らなかったことばかり。編集会議で詳しい知識をもった委員のお話を聞くと、より深く京築を知りたいと思いました。これから、地域の魅力をお伝えしていけるようにがんばります！(うめといと)

京築応援団便り

豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中!

京築を応援するファンクラブに入りませんか?
お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行: 京築連帯アメニティ都市圏推進会議 事務局 (福岡県広域地域振興課内)
企画編集: 京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ: 福岡県広域地域振興課 / 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail.koiki@pref.fukuoka.lg.jp

京築まるごとナビ

京築ってここ

豊の国京築かるた紀行 須佐神社（行橋市）

連歌詠む 今井祇園の風物詩

今井祇園は、かつて中世の港町として栄えた今井津の夏祭りです。一二五四（建長）年、この地方に疫病が大流行したことから、京の都の八坂神社より祇園社を勧請。悪魔退散のお礼として、祭りを催したのが始まりだといわれています。祭りの山車と連歌奉納、ハッ撥が、福岡県の無形民俗文化財に指定されています。

大祭二日目の夜に行われる「夜祇園」は、「今井の祇園さん百段がんぎサマと参れば九十九段」と讃えられる石の階段がみことな元永山に鎮座する須佐神社の参道で行われ

た旧豊前の国を代表する夜市でした。幼い子どもが活躍する「ハッ撥」は執り行われていませうが、川の中に埋めた山車の車輪を掘り出して、毎年組立てる今井西地区の山車や、近年復活した元永地区昇き山の組立作業は圧巻です。

また、祇園祭の間に詠まれる奉納連歌は、五七五の長句と七七の短句を読み連ねる詩歌です。夜祇園の晩には、提灯を灯した山車で、車上の人と道行く人が詠みあう「笠置連歌」も行われます。中世の香り残る風物詩を感じに今井祇園祭へぜひおこしください。



●問い合わせ 行橋市商業観光課 ☎0930-25-1111
[住] 行橋市元永 (レポーター/若草物語・トヨヒメ)



応援団ひろば

京築神楽北九州公演

北九州芸術劇場での京築神楽公演を今年は7月に開催いたします。京築神楽7団体が、大舞台を華麗にダイナミックに舞い踊ります。京築に息づく伝承の舞とともに、神楽の魅力を存分にお楽しみください！

日時：平成29年7月30日(日) 14:00~18:00
会場：北九州芸術劇場 中劇場

(北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F)

◎出演団体

道場寺神楽講(行橋市)、山内神楽講(豊前市)
KANDA天神かぐら団(苅田町)、横瀬神楽講(みやこ町)
吉富神楽(吉富町)、友枝神楽講(上毛町)、小原神楽講(築上町)

●問い合わせ/京築連帯アムニティ都市圏推進会議事務局
(福岡県企画・地域振興部広域地域振興課) ☎092-643-3178

マイナスイオン体験

上毛町岩屋

岩屋の滝

大蛇伝説と
滝の水しぶきで
暑気払い



上毛町東上の岩屋地区の坂道を登っていくと「滝まで5分」の表示が見えてきます。さらに石段を登りつめたところに高さ10m余りの滝があります。この滝つぼには大蛇が棲んでいるという言い伝えがあり、早魃の際には近隣の村から蛇淵参り(雨乞い)が行われていました。滝つぼに漂う冷んやりとした空気と水しぶきに触れると霊験あらたかな気持ちになります。暑気払いに足を運んでみてはいかがでしょうか。

(レポーター/カジカガエル)

●問い合わせ 上毛町役場企画情報課 ☎0979-72-3111

涼十食体験

豊前市畑

畑冷泉

五感を満たす
納涼スポット



かつては山伏の禊場でしたが、明治時代半ば一般に開放。冷泉に隣接する水神社の大楠の根元から湧き出る水温15度の清水は京築地域を代表する名水で、水汲みに多くの人が訪れます。7~8月は期間限定で「畑冷泉館」での冷泉浴が楽しめます。冷泉館の傍を流れる角田川の川底に広がる大きな一枚岩や河川プールは子どもたちの一番のお気に入り。地元の旬の食材を使った滋味あふれる料理が大人気の食事処「畑冷泉茶屋」。五感を満たす納涼スポット。今夏イチオシです。

(レポーター/ヒメジャガ)

●問い合わせ
畑冷泉館(夏季のみ営業※7月~8月 変動あり) ☎0979-82-0976 [休] 期間中無休
畑冷泉茶屋 ☎0979-82-0976 [休] 月(祝日の場合は次の平日)

川遊び体験

みやこ町犀川横瀬

ほたるの里公園

川遊びで
リフレッシュ!

国道496号に沿って流れる英彦山を源流とする清流、祓川。地元の蜆を繁殖させ、蜆見物の名所にした地域づくりと治水工事で整備されたこの公園は、地元でイチオシの川遊びスポットです。迫力満点のウォータースライダーは大人気。夏休みには朝から子どもたちの元気な声が響きます。魚を追ったり、飛び石で遊んだり、子どももおとなも一日中楽しめます。駐車場・トイレが完備され、家族連れには特におすすめ。ココロとカラダを冷んやりリフレッシュしませんか。

(レポーター/ヒサノスケ)

●問い合わせ
みやこ町役場都市整備課 ☎0930-32-6007

幻の滝体験

築上町寒田

鬼の雁木の滝

鬼もひと休み?



木々が囲う岩肌から流れる三条の滝。「その昔、鬼でも登れないほどの険しいところにあった」とされるこの滝は、登山客しか見られなかった幻の滝でした。2008年、求菩提山の麓に延びる県道32号線の寒田(築上町)と求菩提(豊前市)間の開通によってその姿を現し、滝を気軽に見ることができるようになりました。求菩提山に伝わる天狗や鬼のパワーを感じに滝涼みへお越しください。

(レポーター/うめといと)



●問い合わせ 築上町役場商工観光係 ☎0930-52-0001

夏フェス+肉フェス体験

行橋市長井浜海水浴場

ゆくはし

シーサイドフェスティバル

この夏はライブと肉で盛り上がる



7/15~17の3日間、長井浜で熱くなる！
7/16、17に「ゆくはしビーチバレーボールフェスタ2017」、7/15に前夜祭「ゆくはしシーサイドフェスティバル2017」が開催されます。肉フェス+音楽ライブの夏フェスとトッププレーヤーたちの白熱のバトル。熱く盛り上がって、楽しんで、どう転がっても暑い夏を熱く乗り切りませんか。雨天決行。行橋駅からシャトルバスが運行予定です。

●問い合わせ (レポーター/若草物語・いちじく)
ゆくはしビーチバレーボールフェスタ実行委員会
☎0930-25-1111(内線1221)

京築神楽豆版

京築応援団便り付録

イラスト・文：トヨヒメ
監修：クリボウ



京築神楽豆知識

京築神楽の定期公演で上演している紙芝居「しゅちゅるのけいこく神楽」では、神楽を楽しく見るための豆知識を紹介しています。

今回は、神楽の演目に出てくる日本神話の世界についてご紹介しましょう。



神話と神楽

神楽の演目には「古事記」や「日本書紀」に記された神話を題材としたものがあります。人気の演目である「狐仙」(御先)神楽は、天津神が高千穂の峰に降り立つ天孫降臨の場面を現しているといわれます。また、豊前神楽で最も重要な演目は「岩戸開き」です。太陽の神であるアマテラスが天の岩戸にお隠れになる神話は、奉納の一番最後に演じられます。その他にも「神迎」「大蛇退治」など大変華やかな演目があります。テレビもない時代に、神話の世界を舞台とした神楽を見ることは、人々の大きな楽しみであり、癒しのひと時だったのでしょう。



神話の世界 その一

岩戸開き

日本神話のはじまりは、男の神様イザナギと女の神様イザナミの国生み神話から始まります。二人はたくさんの神様を生みましたが、イザナミは「く」なりました。黄泉の国へイザナミを追いかけていったイザナギが帰る途中で、穢れを清めるために禊をする、太陽の神であるアマテラスと月の神であるツクヨミと暴れん坊のスサノウが生まれました。

◎アマテラスオオミカミ

イザナギから高天原を治めることを命じられた、しゅちゅるのお姉さん。田畑を拓き、養蚕、織物を授け、神々を鎮め平和な国をつくりまします。

◎スサノウノミコト

イザナギから地上に降りて海を治めなさいと命じられますが、イザナミのいる黄泉の国に行きたいと駄々をこねる高天原一の問題児です。あまりの暴れぶりに怒ったアマテラスは、岩戸に隠れてしまします。

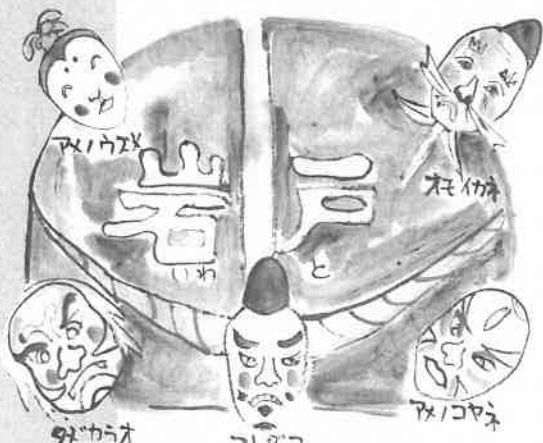


「岩戸開き」で活躍する神々たち

アマテラスが岩戸に隠れてから、暗闇の世界には邪鬼がはびこり、災いが続きます。何とかせねばと憂いた神々は、オモイカネの指導のもとに集まり相談します。まず、オモイカネは常世の長鳴鳥を集めて鳴かせ、イシゴリドメに鏡をつくらせ、タマノオヤに勾玉を下げさせます。用意した櫛に鏡と玉を掛けて、そして、フトダマは御幣を、アメノコヤネは祝詞を奉ります。準備ができると、舞の名手のアメノウズメが岩戸の前で踊ります。踊りのあまりの可笑しさに、八百萬の神々が笑うと、様子を知らなくなったアマテラスは岩戸を少し開け、「何をそんなに喜んでいるのです」尋ねます。「あなたより貴い神が現れたので、みな喜んでいいます。」と神々は答えます。アマテラスは、鏡に映った自分の姿を貴い神と勘違いして身をのり出すと、怪力のタヂカラオが岩戸を開けて、めでたしめでたし！男も女も皆で、自分らしく力をあわせることの大切さを神様たちは教えてくれます。

一方、騒動の原因となったスサノウはヒゲと手足のつめを抜かれて、高天原から追放されますが、ここからスサノウの大蛇退治と更生の物語が始まるのです。

豊前岩戸神楽に登場する神々は、神楽団体によって違いはありますが、ご紹介しましょう。



◎オモイカネノミコト

爺さん面で知恵の神。問題解決のリーダーとして、神々に声をかけます。常世の長鳴鳥を集めて鳴かせます。

◎イシゴリドメノミコト

鏡作りの神。
※豊前神楽にはヤエガキノミコトとして登場しますが、岩戸開きの神話にはヤエガキノミコトは出てきません。

◎タマノオヤノミコト

勾玉作りの神。

◎フトダマノミコト

玉串を捧げる神。鏡や勾玉を下げた神を立てかけます。

◎タヂカラオノミコト

高天原一の怪力の持ち主の神。岩戸を開けます。

◎アメノウズメノミコト

舞の名手の神。岩戸の前で踊ります。

「岩戸開き」と農業信仰

太陽の光と熱とがなければ生物は生きられません。とりわけ稲作にとってそれは不可欠です。農耕儀礼とのかかわりで日の神(太陽)信仰が生まれ、日の神信仰に根ざして神楽「岩戸開き」がつくられたのではないかとはいわれています。

今回は神話の世界その2「大蛇」です。問題児のスサノウの姿身ぶりをお楽しみください。